

クロスロード

NPO 法人コミュニティ日高 人と地域を元気にするコミュニケーション広報紙

町に住んでる素敵な人

VOL.

43

2022年3月



町に住んでる 素適な人

劇団 青年団 江原河畔劇場

ながた りこ

永田莉子さん

1988年 静岡県伊東市生まれ
2017年 桜美林大学 演劇専修 入学
2020年 江原河畔劇場主催
無隣館入学（大学在学中）
2021年 劇団青年団 入団



やまだ はるの

山田遥野さん

1988年 神奈川県横浜市生まれ
2017年 桜美林大学 演劇専修 入学
2021年 劇団青年団 入団



たかはし ともこ

高橋智子さん

東京都出身
青年団 俳優、介護福祉士
2020年 日高町に移住



震災に見舞われて。

永田莉子さんと山田遥野さんは、昨年4月に入団した同期生。ともに大学4年生の時に、新型コロナウイルスの震災が始まった。

当時、東京でアルバイトをしながら演劇をしていた遥野さんは、緊急事態宣言や自粛要請の影響で、どちらもできなくなっていました。莉子さんも影響を受け、出演予定の舞台が次々と中止になり、そのまま東京においても演劇ができる見通しがたなくなっていた。

行く先が決まらず不安な日々を過ごしていたふたりは、ある時『演劇で町づくりをしている』という話を聞いた。

その町が豊岡市だった。

ここでなら続けられる。

ほとんど演劇活動ができなくなった東京とは異なり、日高町に拠点を移したばかりの劇団青年団では、少しずつ活動を継続していた。そこには豊岡市が学校教育に演劇を活用しているという背景があった。「ここでなら続けられると思いました。」と遥野さんは振り返る。

莉子さんも同じ思いだった。

「こちらには東京と比べて創作活動がしやすい環境があり、俳優活動にも集中することが出来ます。」

「さらに『豊岡演劇祭』という世界中のアーティストが集まる場があることも魅力的で、そんな町に住んでみたいというのが、移住を決断する理由になりました。」

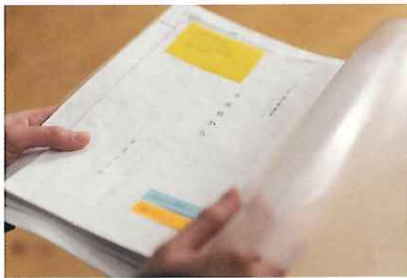
ふたりは今、豊岡市が進める「演劇的な手法を取り入れたコミュニケーション教育」にも関わっており、学校で行う体験授業のアシスタントも務めている。

演劇の魅力。

演劇はその人が持つ「個性」を大切にするという。

同じ学校を卒業して、同期で入団し、今、同じ場所に住んでいる莉子さんと遥野さん。同じように接していても、それぞれ違った個性が輝いている。

「これからはいろんなことに臆することなく挑戦し、視野を広げたい。」
これから先の、おふたりの活躍が楽しみである。



2階のスタジオで台本の読み合わせを見せていただいた。台本は冊子にしたものと、スマートフォンで見るものがある。床はフローリングで暖かく、すべすべして気持ちがいい。

2年経って。

2020年4月、劇団「青年団」の本拠地として、旧豊岡市商工会館が改築され「江原河畔劇場」が生まれた。

かつて日高町役場、日高町商工会館、豊岡市商工会館として85年もの歴史を持つ建物構造が活かされており、レトロな雰囲気を残したまま屋内の造作が新しくなっている。

今回、劇場を案内してくださいと高橋智子さんは、東京から鶴岡に移り住んで2年になる。

「豊岡に来る前は、劇団の拠点が移ってしまったことが不安で、移住を迷っていました。」兵庫県のことをよく知らなくて言葉が通じるだろうかという心配もあったそうだが、でも思いきって来てみれば、あつという間に町の魅力に取り憑かれたという。

また、東京では必要がなかった自動車免許を取得して、小さな自動車を買った。冬用タイヤも購入し、今年は大雪も経験した。

「こちらに来てから出費が多くて。雪かきも大変でしたが雪景色は好きです。」休みの日にはドライブも楽しんでいる。

江原河畔劇場のこれから。

劇場の改築はまだ未完成で、これから整備したいところがあるという。たとえば2階の川に面した窓の外にテラスを作ること。そこで何をするのか尋ねると、

「景色を眺めながらビールを飲みます。」

以前は役場や商工会があった場所が、柔らかな雰囲気であたたかされている。

そして今、江原河畔劇場は「支援会員募集」に取組んでいる。募集案内によると、

「欧米の劇場のように「会員システム」により、一定の条件で何度でも演劇が観られるようにする制度。劇場というのは本来、芸術監督が選んだプログラムを信頼し、シーズンを通じて通っていたたく場所であり、私たちは「劇場文化」を日本に定着させたいと願ってきました」(一部抜粋)

会員になると、江原河畔劇場の演目だけでなく、東京、京都、沖縄、愛媛、三重、長崎の連携劇場の作品も年間を通じて観ることができるそう。年会費は「但馬割引」が設定されており、私たち但馬エリアの住人にはたいへんお得になっている。ぜひとも応援してください。

【電話】0796(42) 1155

【受付時間】10-16時

【休館】公演期間以外の日曜日

(文・写真／松岡 徹)



(写真上から)

舞台ホール。天井のむき出しの太い梁が歴史を感じさせる。

1階入口の奥。寛げるスペースになって奥へと続いている。

2階スタジオからの眺め。3連窓と円山川の風景が美しい。

(写真下)

1階のテラス。円山川に面して広々と開放的だ。





「身近なジオパーク」

山陰海岸所パーク推進協議会事務局次長
(NPO 法人コミュニティ日高監事)

小林 辰美



「ジオパーク」は、聞いたことはあるけど内容はイマイチよう分からんわ。」という方が多いと思います。

「ジオパーク」とは、①地球の恵みとその力を知り、②地球を楽しみ、③地球とうまく付き合おうという取組みです。

山陰海岸 ジオパークの迫力ある景色や、自然を使ったアクティビティを楽しむ方は多いですが、今回はそれ以外のジオパークの楽しみ方を紹介したいと思います。

地図

神鍋高原のシンボルと言えば「神鍋山」です。日高地域の方は神鍋山が火山で、噴火口が残っていることをご存じの方は多いと思いますが、地図で噴火口はどのような表現をされているのでしょうか？等高線だけでは噴火口が凹んでいることが分かりません。どんな表現になっているのか、ぜひ国土地理院の地図をご覧ください。(インターネットでも閲覧できます。)

また、神鍋高原には神鍋山以外にもいくつ

か火山があります。大机山やブリ山もそのひとつですが、神鍋山のすぐ南東に山があった形跡が残っています。神鍋山が噴火した際、流れ出た溶岩などで山の8割程度が崩れたのではないかといわれています。こちらも地図を広げて探してみてください。



テロワール

「テロワール (Terroir)」という言葉があります。ワインやコーヒーは、ブドウやコーヒー豆の生育環境で味の特徴が異なるということです。つまり、地形、地質、気候など(地球の力)が食べ物の味に影響するということです。「神鍋の野菜は、水はけがいいクロボク土と寒暖差が大きい高原で栽培しているので美味しい」というのがテロワールです。

日高町出身の偉人植村直己さんは、その性格を「口下手だが、粘り強い『但馬人気質』」と評されます。雪深く、厳しい自然環境がその「但馬人気質」を生んだと言われており、自然環境が人の性格まで左右するということは、「気質」にもテロワール(=ジオ)があるといえるのではないのでしょうか。

地名

日高地域の地名も自然環境に影響を受けて

おり、谷、山本、荒川、上石、岩中のように地形や地質に関連した名前の行政区は17区(24%)、藤井、水上のように水に係ったもの、宵田、野のように土地利用に関するもの、さらには、猪爪、栃本、稲葉のように動植物の名前まで入ると42区、実に60%にも達します。あまりにもローカルな話になりますが、私の地元の小字名を紹介します。タマタニ(玉谷)は、碧玉(へきぎよく)(ジャスパー)の産出する谷で、この石は、豊岡市内の弥生時代の遺跡で見つかっていますし、神戸市の遺跡でも見つかった碧玉を化学分析した結果、この石の可能性が高いと言われており、かつては有名な産地だったのかもしれない。また、そこにある多摩良木(たまらぎ)神社(猪爪)にも「タマ」が付きますが、このタマは碧玉のことと考えられます。

また、ホウザワ(宝沢)では、水晶が見つかっているので、この「宝」は水晶を指していると思われる。

このような地球の恵みに由来するもの他、地球の災いともいえる災害跡と思われる地名もあります。オオズエ(大末)は、大きくずえた(ずり落ちた)場所、つまり地滑り地を指していると考えられます。

このように、小字はより地形・地質や過去に発生した事象など、自然環境を反映している場合も多いと思われます。ぜひ、お近くの小字名を調べてみてください。

名字

名字も自然環境を反映したものがたくさんあります。

例えば、町内に北村さんや西村さんがありますが、南村さんや東村さんは聞いたことがありません。これは、環境の良い南向き斜面や東向き斜面を好んで人が住んだことで、南向き斜面は北に、東向き斜面は西に集落ができることによるものです。

また、北に村ができると、南に田んぼがあり、家や集落の前に田んぼがあるので前田さんになります。北村さんと前田さんは表裏一体といえます。

大岡山の麓の岡本さん、荒川く芝の坂の上にある上坂さんなど、地形に由来する名字もありますし、日本人の主食が米であることから、米田、飯田、田中など、田の付く名字も多いです。

変わったところでは、日高には国府や国分寺があることでも分かるように、古くから街だったのでしょうか。「野生の動物にびっくりした。」という名字もあります。

『わっ！タヌキ！』

お後がよろしいようで。

(綿貫理事長、名字を茶化してすみません。)



『植村直己記念スポーツ公園』指定管理撤退のお知らせ

「植村直己記念スポーツ公園は」平成25年度以後今期まで、「コミュニティ日高」が指定管理者として、利用者の皆様のご要望にお応えしながら、役職員一同対応させていただきました。

野外施設で、避けることのできない施設の老朽化への対応も、市との協議の場を重ねて、利用者の皆様のご期待に応えるべく管理者としての務めを果たし、今日まで多くの利用を頂いてきました。

しかしながら、天候による利用回数減少の影響、公園としての樹木など植栽の管理などへの対応、その上コロナ禍における利用頻度の減少等々管理上の課題が山積してまいりました。

この現況から、今後の指定管理者としての在り方を検討させていただき、不本意ではありますが、指定管理期間の今期をもって終了させていただくことに決定いたしました。

長い間ご利用いただきました各種団体の皆様はもとより、個人でのご利用の皆様はじめ、環境整備等にご協力いただきました地元「野区」「伊府区」の皆様にも、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

(尚、次期の指定管理者は「アドバンス株式会社」様が受託されます。

理事長 綿貫 祥一



退職者挨拶

6年間ありがとうございました。植村直己記念スポーツ公園では、球場整地、芝刈り等の管理業務をしてまいりました。いろいろな方々と交流し、楽しく過ごせました。

管理員 上村 昌義

NPO法人コミュニティ日高の4年間で日高町体育協会、植村直己記念スポーツ公園の仕事を担ってきました。これからも、人と人の絆を大事にしていきたいと思っております。お世話になりました。

事務員 吉谷 久美

事業報告・お知らせ

文化振興事業

♪ピアノデュオコンサート

11月3日(水・祝) 入場無料(整理券発行)

ピアノ: 吉田 ひとみ・飯森 美穂子

賛助出演: 秋川 みほ(バイオリン)

アンサンブル豊岡(弦楽団)

♪ベーゼンドルファーが奏でるピアノの音色にとっても心地よい時間を過ごせました。

★2021年度中止事業(※コロナ禍による感染拡大防止のため)

第11回ひだか市民吹奏楽のつどい/3月20日(日)



共同募金のご協力
ありがとうございました。
ピアノデュオコンサート 6,005円

日高文化協会

☆第43回 協会展

11月6日(土)・7日(日)

写真・書道・生け花の展示、茶道のお点前、

協力団体の出展もあり、たくさんの方に来場していただきました。

★日高文化協会会報「つながり」14号発行

★2021年度中止事業(※コロナ禍による感染拡大防止のため)

交流研修会(江原河畔劇場にて演劇鑑賞)/2月22日(火)・26日(土)



共同募金のご協力
ありがとうございました。
協会展 4,385円



日高町体育協会

★2021年度中止・延期事業(※コロナ禍による感染拡大防止のため)

・第49回神鍋高原市民スキー大会/2月6日(日)

・第30回記念日高地域市民ソフトバレーボール大会/3月27日(日)1年延期

★50周年記念誌の発刊について

記念誌発刊にあたり昨年9月に推進母体である編集委員会を発足し、各協会に担当者を選任しました。

充実した内容になるようにプロジェクトを推進中です。令和4年3月頃、発刊予定。有料販売も検討中です。

加盟団体募集

日高文化協会、日高町体育協会、スポーツクラブ21と一緒に活動しませんか！
お気軽にお問い合わせください。

2022年度コミュニティ日高会員募集

2021年度は正会員、賛助会員を合わせて139人、23団体の方にご支援いただきました。

2022年度も引き続きよろしくお願い致します。正会員様には会員特典を予定しています。

正会員 個人 3,000円 団体 10,000円

賛助会員 個人 1,000円 団体 5,000円(1口)

—編集後記—

今回は、コロナ禍に加え大雪の影響も受けたなか
また新しい出会いがありました。
ご協力いただいた皆様に感謝します。

(クロスロード編集部)

NPO法人コミュニティ日高

管理施設 日高文化体育館
植村直己記念スポーツ公園

〒669-5305

兵庫県豊岡市日高町祢布 954-6

TEL/FAX 0796-42-2505

http://www.comhidaka.or.jp/

〒669-5363

兵庫県豊岡市日高町野 829

TEL/FAX 0796-44-0440

表紙写真/

劇団 青年団 江原河畔劇場 永田莉子さんと山田遥野さん(左から)